

(様式3)

平成25年度 高校生キャリア形成事業における
キャリア教育充実プログラム
実施報告書

25松商高第2751号
平成26年3月11日

愛媛県教育委員会高校教育課長 様

愛媛県立松山商業高等学校長 大浦 哲雄 印

次のとおり、高校生キャリア形成事業におけるキャリア教育充実プログラムを実施したので、実施報告書を提出します。

1 主題等

主 題	社会的・職業的自立力を育てるキャリア教育の推進
主題設定の理由	実社会と学校のギャップによって生ずる職場不適応等を防ぐとともに、主体的に考えて様々な状況乗り越え、自己の職業的な能力・適性を理解し、たくましく生きて行く力を育てる。
事業実施対象生徒(小・中・高)	流通経済科 第2学年 情報ビジネス科 第2学年 商業科・国際経済科 第2学年
事業のねらい等	企業等でのインターンシップや体験学習を充実させることで、ビジネスへの理解を深めさせる。特に、ビジネスの場面に関連付けた指導に努め、実社会と教育の乖離を埋める。また、実社会に役立つキャリア教育を学んでいることを実感させ、生徒に自信と誇りをもたせ、学習意欲を喚起する。

2 実施内容

(1) キャリア教育の全体計画及び年間指導計画についての評価

今年度のキャリア教育の全体計画及び年間計画にもとづいて、該当学年の生徒の指導及び保護者への啓発活動を実施することにより、実社会に対応できる生徒の育成に努めることができた。

(2) 就職対策委員会の設置

○就職対策委員会の概要についての評価

就職対策委員会を中心に、関係機関と連携を密にしながら個々の進路実現のために活動し、ほぼ目標は達成できた。しかし、新規での開拓は非常に厳しい。また、求人は出してくれても本校だけでなく、他校にも募集をかけてしまう(職安の指導があるため)ので、生徒の希望する進路実現が困難な面があった。

○教員の企業訪問による求人開拓及び企業側の要望調査

	訪問時期	訪問企業数	求人確保数	企業の要望
①	6月	9	1	PCでの処理ができること
②	7月	7	1	事務処理ができて、話せること
③	5月	3	0	
		備	考	
訪問時期については訪問企業数の多い順に記入している。				

○卒業生の就労調査（流通経済・情報ビジネス・商業・国際経済）学科

卒業年月	就職者数	定着者数	不明者数	離職者数	離職率	主な離職理由
平成 25 年 3 月	80	54	20	3	3.8%	人間関係・労働条件が悪い
平成 24 年 3 月	69	27	38	4	5.8%	人間関係・正社員からバイトにされた
平成 23 年 3 月	60	28	28	4	6.7%	労働条件が悪い・結婚(2)
備				考		

(3) ビジネスマナー講座
(流通経済・情報ビジネス・商業・国際経済) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
① 店舗営業の心構え	C	5月	1日	2年	A	120人	1人
② 社会での心構え	F	6月	1日	2年	A	358人	1人
③ 販売員の心構え	C	1月	1日	2年	A	118人	2人
備				考			
②の358人のうち、120人は①③にも参加							

- 注1 対象(小)学科が複数あるときは、学科数分枠をつくること。
 2 位置付け欄には、教育課程上の位置付けで、「A：現場実習等職業に関する教科・科目の中で実施（Cの場合を除く。）、B：課題研究の中で実施、C：学校設定教科・科目で実施、D：総合的な学習の時間で実施（Fの場合を除く。）、E：特別活動で実施（Fの場合を除く。）、F：総合的な学習の時間で実施し、特別活動の学校行事としても読み換えている、G：学校外における学修として実施、H：教育課程には位置付けず実施」の中から該当するA～Hの記号を記入すること。なお、二つ以上に該当する場合は、該当する記号全てを記入すること。
 3 参加形態欄には、原則として当該学年・学科の全員が参加する場合はAの記号を、選択・希望者等当該学年・学科の一部の生徒が参加する場合はSの記号を記入すること。
 4 備考欄には、同じ生徒が複数のビジネスマナー講座に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。
 (例) ②の30名のうち、20名は①にも参加
 5 それぞれの講座の講師（所属）一覧表を添付すること。

(4) 企業等におけるインターンシップ
(流通経済・情報ビジネス) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	受入企業数
① ビジネス実習	C	5月	3日	2年	A	120人	45
② イベント実習	G	11月	1日	2年	A	150人	38
③ 現場実習	C	2月	2日	2年	A	118人	5
備				考			
①の流通経済科は、②③にも参加							

- 注1 (3)の注1～3と同じ。
 2 備考欄には、同じ生徒が複数のインターンシップを実施する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。
 (例) ②の30名のうち、20名は①も実施

3 インターンシップ受入先一覧表をそれぞれ添付すること。

(5) 企業説明会・職場見学会

○企業説明会

(商業・国際経済) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
① 税理士への道	C	10月	1日	2年	A	120人	1人
②							
③							
備 考							

注1 (3)の注1～3と同じ。

2 備考欄には、同じ生徒が複数の説明会に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。

(例) ②の30名のうち、20名は①にも参加

3 それぞれの説明会の講師(所属)一覧表を添付すること。

○職場見学会

() 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
① 中央卸売市場見学	A	6月	1日	2年	A	120人	1人
②							
③							
備 考							

注1 (3)の注1～3と同じ。

2 備考欄には、同じ生徒が複数の見学会に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。

(例) ②の30名のうち、20名は①にも参加

3 それぞれの見学会の講師(所属)一覧表を添付すること。

(6) キャリア教育に係る情報発信の概要

1 実施内容と生徒の感想等を随時HPに掲載する。
2 4月に実施計画書、3月に実施報告書をHPに掲載する。

3 成果と課題

ビジネスマナー講座や企業等におけるインターンシップを経験することにより、販売活動の知識・技術・態度を身に付けることができた。また、地域商店街のイベントに参加・協力することで、地域の人々や、観光客との交流により地域の良さを再発見でき、コミュニケーション能力の育成にも役立てることができた。参加した生徒は働くことの大切さとその意味を知ることができ職業観・勤労観の育成に効果があった。さらに、地域社会に貢献することができ、ビジネスの実際と高校教育の開きによって生ずる職場不適應等を防ぐ効果があったと思われる。

課題として、今年度の計画段階では愛媛が誇るスゴ技データベースの中にある企業との説明会を予定していたが、相手方の都合により実施できなかったので来年度は活用できるよう工夫したい。